

# しろくま通信



先々週から福岡県福岡市東区箱崎にある『筥崎宮』について書いています。

さて、この話しの主人公である応神天皇のお父さんである仲哀天皇の話しをしなければなりません。九州を支配している熊襲(くまそ)の反乱を収めるために、奥さんの神功皇后と箱崎のお隣である香椎の地にやってきました。ここで最期のトリを務める神社が香椎宮です。実は、今回出てくる4つの神社の内最高位に値します。戦前まで、官幣社という位がありました。官幣大社から国幣小社まで6段階に分かれ、筥崎宮と香椎宮がこの官幣大社です。福岡県では他に宗像大社だけです。筥崎宮では、本殿に1番近い鳥居の横に「大社筥崎宮」と岩に刻まれています。本体は官幣大社なのですが官幣の2文字はなぜか削られています。ちなみにこの字を書いたのは玄界灘で日本海海戦に勝利を収めた海軍大將東郷平八郎による書です。香椎宮にも同様の書がありますが、こちらは「官幣大社香椎宮」となっています。ただし、官幣の部分だけセメントで埋めてありますが、読み取ることは出来ます。では筥崎宮どこが違うのかというと、10年に1回、勅使と言って天皇からお使いが来るのです。次回おいでになるのは、2025年です。なお勅使が来る勅祭社は、九州ではこと八幡宮の宇佐神宮だけです。



《筥崎宮：大社筥崎宮》と《香椎宮：官幣大社香椎宮》（官幣の部分だけセメントで埋められている）



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！